

## 令和元年度決算審査要望書

(確実な新型コロナウイルス感染症対策)

- 1 令和元年度末から急速に日本でも拡大した新型コロナウイルス感染症の流行は、いまだ終息の見通しが立っていない。

本市においても感染予防及び感染拡大の防止をすることはもちろんのこと、経済へのダメージを最小限に食い止められるよう、確実な科学的根拠を基に適切な施策を講じるよう努められたい。

また、新型コロナウイルス感染症の陽性者や医療・介護・教育・保育従事者等への差別や偏見をなくすための啓発に積極的に取り組まれたい。

(防災・減災の推進)

- 2 令和元年東日本台風の被災による復旧・復興の事業は、道半ばである。今後も関係各所と連携を密にし、農業・産業・公共インフラに係る復旧・復興事業を計画通り進められたい。

また、今回の経験を踏まえ、今後は被災者に対する生活再建等の支援を迅速に行える体制整備に取り組まれたい。

(災害の影響下における相談体制の充実と新型コロナウイルス感染に対応する医療・検査体制の充実)

- 3 令和元年東日本台風による被災と新型コロナウイルス感染に立て続けに見舞われた本市で、多くの市民が先の見えない不安や、かつてないストレスを抱えていることに鑑み、市民相談や家庭児童相談の役割を十分に果たすための体制の充実に努められたい。

また、新型コロナウイルス感染による健康被害を最も受けやすい高齢者や妊婦などを命の危険から守るためのワクチンの優先接種や費用の助成、専用の病床数・看護師の確保など医療体制の整備、感染者の早期発見のための検査体制の充実などに努められたい。

(児童・生徒の教育環境の充実)

- 4 今年、あそ野学園義務教育学校が開校し、義務教育学校元年となった。小中一貫教育では英語教育の推進をはじめ、GIGAスクール構想推進の中、ICT教育等の拡充が行われている。それぞれ、教育内容の充実を図るため、教職員の資質、指導力向上に努められたい。

ハード面では、義務教育学校建設に向け、新築・改築計画が出されるとともに、老朽化している校舎の長寿命化計画が出されている。同時に進めなくてはならない計画であり、スケジュール管理、資金計画管理に努められたい。

また、近年の自然災害や、義務教育学校化での通学区域拡大等の影響から、児童・生徒の登下校時の安全管理を徹底されたい。

(空き家対策の推進)

5 コロナ禍が地方移住への意識を変え、田舎暮らしが脚光を浴びてきている。そうした中、本市においては、「佐野市空き家等対策計画」に基づき、定住促進による人口減少の克服を目指しており、Withコロナ時代の流れに即した取組といえる。

そこで、本市への移住・定住（UIJターン）や田舎暮らしに資する有効な資源として、空き家の売却や貸出しをするなど積極的な取組に努められたい。

(産業団地の開発)

6 少子高齢化が進む中でも、定住促進を図る上で産業の活性化は重要であり、生産年齢人口を獲得するための働く場の創出が不可欠である。そのような中、これまで開発準備を進めてきた出流原PA周辺総合物流開発整備推進事業を、当初の予定通り計画的に、かつ適正な土地利用とともに進める必要がある。

そこで、交通の要衝としての本市の優れた特性を活かし、周辺環境との調和に配慮した上で、地域住民の理解を得ながら、当該事業に遅滞なきよう積極的な開発に努められたい。